



2021年5月17日

各位

会社名 協立情報通信株式会社
 代表者名 代表取締役社長 佐々木 茂則
 (JASDAQ・コード3670)
 問い合わせ先 管理部 総務グループ長 室井 康成
 (電話 03-3434-3141)

(訂正・数値データ訂正)「2021年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、2021年4月14日に発表した「2021年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容の一部に訂正すべき事項がありましたので下記の通りお知らせします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信いたします。なお、訂正箇所には下線を付して表示しております。

記

1. 訂正の理由

2021年4月14日の発表後に、記載内容の一部に誤りがあることが判明しましたので、これを訂正いたします。

2. 訂正の内容

訂正箇所は2箇所となります。

「2021年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」サマリー

(訂正前)

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年2月期	—	0.00	—	55.00	55.00	65	38.1	4.0
2021年2月期	—	0.00	—	55.00	55.00	65	49.8	3.8
2022年2月期(予想)	—	0.00	—	55.00	55.00		47.0	

3. 2022年2月期の連結業績予想 (2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通 期	5,000	10.9	200	21.2	210	8.9	140	5.9	円 銭 116.97

注) 当社は年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の業績予想の記載を省略しております。

(訂正後)

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年2月期	—	0.00	—	55.00	55.00	65	38.1	4.0
2021年2月期	—	0.00	—	55.00	55.00	65	49.8	3.8
2022年3月期(予想)	—	0.00	—	55.00	55.00		47.0	

注) 2020年10月14日付けで公表いたしました「決算期(事業年度の末日)の変更に関するお知らせ」のとおり、2021年5月27日開催予定の第56期定時株主総会において「定款一部変更の件」を承認されることを条件として、事業年度の末日を2月末日から3月31日に変更することを予定しております。このため、2022年3月期(予想)については、中間配当の基準日を9月30日、期末配当の基準日を3月31日としております。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年3月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

通 期	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	5,000	—	200	—	210	—	140	—	116.97

注) 1. 当社は年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の業績予想の記載を省略しております。
2. 2020年10月14日付けで公表いたしました「決算期(事業年度の末日)の変更に関するお知らせ」のとおり、2021年5月27日開催予定の第56期定時株主総会において「定款一部変更の件」を承認されることを条件として、事業年度の末日を2月末日から3月31日に変更することを予定しております。このため、経過期間となる2022年3月期については、2021年3月1日から2022年3月31日までの13ヶ月となります。従いまして、対前期増減率については記載しておりません。

「2021年2月期決算短信〔日本基準〕(連結)」4、5ページ

1. 経営成績等の概況

(4) 今後の見通し

(訂正前)

なお、収束と拡大を繰り返し、収束の見えない新型コロナウイルス感染症は今後も継続するものと考えており、再拡大の規模によっては少なからず業績に影響を及ぼす懸念があります。

当社グループでは、こうした影響が5月末まで継続すると仮定し、次期の連結業績を、売上高5,000,000千円(前期比8.8%増)、営業利益200,000千円(同21.2%増)、経常利益210,000千円(同9.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益140,000千円(同7.7%増)と見込んでおります。

(訂正後)

なお、収束と拡大を繰り返し、収束の見えない新型コロナウイルス感染症は今後も継続するものと考えており、再拡大の規模によっては少なからず業績に影響を及ぼす懸念があります。

当社グループでは、こうした影響が5月末まで継続すると仮定し、次期の連結業績を、売上高5,000,000千円、営業利益200,000千円、経常利益210,000千円、親会社株主に帰属する当期純利益140,000千円と見込んでおります。

なお、2021年5月27日開催予定の第56期定時株主総会において「定款一部変更の件」を承認されることを条件として、事業年度の末日を2月末日から3月31日に変更することを予定しております。このため、経過期間となる2022年3月期については、2021年3月1日から2022年3月31日までの13か月となります。

以上